

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
ゲイリー・C.K. ホワン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎



第 2709 回例会

平成 27 年 3 月 26 日 天候 晴

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「蛍の光」「奉仕の理想」

《BGM》 「ジャズピアノ エssenシャルズ」

《来賓》 小長谷建夫様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

3月 28日 鈴木洋一 君
3月 29日 司馬 速 君
4月 5日 小山宏之 君

結婚記念日

3月 26日 望月康弘 君
3月 26日 久野義彦 君
3月 29日 神野一成 君
4月 3日 加藤登士樹君

《会長挨拶要旨》

『惜別の唄』



春桜の季節になりました。駿府城公園の裁判所の前の桜も三分咲きとなり、その美しさを見る人に感じさせています。

私は、春になり美しい桜を見ていると、梶井基次郎の「桜の木の下には死体が埋まっている。あの桜の花が見事に咲く美しさは、そうでなければ説明ができない。」という言葉

をふいに思い出します。

1. 春は出会いと別れの季節です。卒業と入学の季節です。満開の桜の下で、卒業をし新入生が新しく学校の門をくぐります。転勤のためや事情によって当クラブを離れる方もいらっしゃると思います。

私は転勤のため、静岡を離れる方と送別の機会を持つことができ、夜を遊び酒に酔うとその静岡を離れる友に送る唄として『惜別の唄』を歌います。

2. ① 遠き別れに耐えかねて この高樓(たかどの)に登るかな 悲しむなかれ我が友よ 旅の衣をととのえよ

② 別れと言えは昔より この人の世の常なるを 流るる水を眺むれば 夢はずかしき涙かな

③ 君がさやけき目のいろも 君くれないのくちびるも 君がみどりの黒髪も またいつか見んこの別れ

④ 君の行くべきやまかわは 落つる涙にみえかわず 袖のしぐれの冬の日 君に贈らん花もがな

3. この歌の原詩は島崎藤村で作曲は藤江英輔です。この唄が作られた事情について、作曲をした藤江氏ご本人が書いた書物が残っています。作られたのは太平洋戦争が末期的な症状をしめしてきた昭和 20 年冬のことです。

当時、学徒勤労動員で陸軍の兵器工場で働いていた藤江氏が、仕事に疲れて仲間たちと「俺たちは、学問から離れて、ここで兵器生産に励んでいる必然性はどこにあるのか」と議論を繰り返していたそうです。そのとき、友人の中本氏が、自分の運命に客観的な価値を発見するために日夜悩んでいた。そのとき、中本氏が藤江氏に紙切れを差し出して「この詩を知っているか」と問いかけたそうです。

その紙切れは島崎藤村の「若菜集」に収められている「高樓(たかどの)」という題の詩だったそうです。その日、激しく降る雪の中、藤江氏は、膝まで没する雪の中を歩きながら、島崎藤村の原詩である「哀しむなかれ わが姉よ」という文句を繰り返しているうちに、いつか、姉という言葉が友に変わり、戦争に駆り出されていく友のことを想い「哀しむなかれ わが友よ 旅の衣をととのえよ」という言葉に変わり、あるメロディが自然に湧き上がってきたそうです。

藤江氏の発言によれば、胸の中で死と隣り合わせになっていた、若い未熟な無秩序な願望から突然湧き出した不思議なメロディだったと語っています。

4. この唄を藤江氏は中本に送り、口から口へと伝わっていったそうです。そして、いつか陸軍造兵廠第三工場から出陣する学徒兵を送る別れの唄として唄われるようになったそうです。

歌詞の 3 番にある「またいつか見ん この別れ」に万感の想いを抱きます。

その後、この唄は、中央大学の学生歌として歌い継がれやがて東京女子高等師範学校(御茶ノ水女子大)などの学生が卒業後、教師になり赴任先の学校で生徒に教えたなどし

て全国に拡散していったそうです。

5. やがて昭和30年ころ、各地の盛り場で「歌声喫茶」が出現し、この唄は我らの唄として大合唱されることになったようです。その後レコード化されるたびに、いつの間にか4番の歌詞が除かれ3番までとして唄われるようになったそうです。

6. 島崎藤村の歌詞では「わが姉」とされていたものが「わが友よ」と変えられるなど、多少の変更はあったとしても改めてこの惜別の唄の歌詞を詠むとき、友を送別する万感の想いに包まれます。

今回、静岡を離れられる多賀会員と土山会員そして退会される杉本会員へ惜別の唄を送ります。

《来賓卓話》

『なぜ残った! 葦山反射炉』

元SBS静岡放送・静岡新聞総務局長

小長谷建夫 様



葦山代官江川太郎左衛門(坦庵=たんなん)は巨大な人物なのにあまり良く知られていません。私は坦庵を題材として「前を歩く人=坦庵公の一日=」という小説を執筆し、第17回伊豆文学賞で最優秀賞を受賞致しました。

先日お台場の講演会で坦庵の話をしてまいりました。もう

一人の講演者である中村勝範先生が話されていましたが、幕末においての日本を正しくリードした人間は突き詰めて行くと、老中阿部正弘になるということだそうです。幕末の攘夷という気運の中、日本の開国と近代化を目指すため、日米和親条約に導いていくためのリーダーシップを発揮しました。その老中阿部正弘の優秀なブレインのひとりが坦庵となります。こんな逸話があります。「ペリーが率いる東インド艦隊に勝つ可能性はあるのか」と阿部正弘が坦庵に質問したところ「万に一つも勝ち目はありません」と即答したそうです。

坦庵は教育力等の様々な面で非常に優秀でした。吉田松陰との比較をしてみたいと思います。吉田松陰の松下村塾での教育はすばらしいもので、下級武士、百姓の子供などわけ隔てなく、教え子の良いところを褒めて育てて行きました。松下村塾で育った人々は、明治になって自分の出所を松下村塾とって吉田松陰の名を広めて行きました。

一方、坦庵は蘭学を学びながら深く西洋事情を知ることになり、日本にとって「海防」が必要不可欠であるとの思いを強くし、西洋砲術の導入と普及、台場の築造、そして反射炉による鉄製砲の鑄造へと自力で研究を進めて行きました。坦庵はこれらの知識を私塾を開いて若者に伝えて行きました。坦庵亡き後に江川家は現在の浜松町近くに上武館という私塾を作り、坦庵の私塾の教授陣をそのまま登用しました。ここで学んだ若者は数千人といわれており、佐久間象山、日下玄随、桂小五郎、黒田清輝など後に出世した出身者がたくさんいます。しかし、残念ながら明治時代になって、自分の出所として江戸幕府配下にあった江川家の上武館や、坦庵の私塾をあげることはありませんでした。

坦庵は台場に設置する大砲を鑄造するために1854年葦山反射炉を作り始めました。坦庵はその後すぐに亡くなってしまいましたが、その遺志が受け継がれ、反射炉は没くなった2年後の1857年に竣工しています。しかし葦山反射炉はわずか7年間のみ稼動して役割を終えてしまいました。その当時すでに最新技術とは言えなくなっていました。

葦山反射炉は現代までしっかりその形を残していますが世界的にもそのような例は他にありません。地域の人たちが幕末における坦庵の信念・志を葦山反射炉という形として残そうと努力した結果だと思います。明治政府になって反射炉は陸軍省の所管になっています。明治政府の要人の中の黒田清輝などが残すための尽力をしたものと思われれます。

葦山反射炉が世界遺産となってよりたくさんの方の目に触れて、坦庵の志が後世に伝わればより良いと思います。

《第306回くらく会報告》

平成27年3月24日(水)於 静岡倶楽部

出席5名 投句3名

兼題 「たんぼぼ」「春一番」他当季雑詠

第1席 タンポポは踏まれても又踏まれても 今井富子

第2席 じいちゃんの帽子ころころ春一番 司馬 速

第3席 黒髪を結いて旅立ち春一番 長田きみの

《スマイル報告》

杉田 至弘 君 本日ご多忙の中、卓話講師を心より良く受けて頂き素晴らしいお話を聞かせて頂いた小長谷建夫さんに感謝しスマイルします。

司馬 速 君 誕生日のお祝いありがとうございます。あつと言う間に94才になりました。色々のことがありました。226事件、戦争、食料物資の不足、高度成長、バブルの崩壊など。命短し恋せよ乙女。

杉本 幸子 君 心温まる女子会歓送会に感激でした! ロータリー活動は宝ものの一つとなりました。皆さまに心から感謝申し上げます。これからも見つけた時にはおいと呼んでくれると嬉しいです。ありがとうございます。

宮川 沓 君 市内7クラブのゴルフコンペ菊川カントリーで10回目を数えました。40人参加で私個人としてはまったく駄目でした。優勝は大和証券の土山さん。送別コンペになりました。幹事としてスマイルします。

土山 博英 君 2年4ヶ月という短い間でしたが、大変お世話になりました。また、静岡最後のロータリーゴルフコンペで優勝させていただきました。みな様の今後のご活躍を願ってスマイルします。ありがとうございました。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
3/26	53(52)	41	11	-	-	-
3/19	53(52)	44	8	-	-	-
3/12	53(52)	42	10	7	3	94.23%